

1 題材名 うれしい気持ちと悲しい気持ち②

2 授業のねらい

- ・気持ちには、プラスとマイナスの気持ちに分けられるということを知る。
- ・「うれしい」「悲しい」という気持ちの表情やしぐさについて知る。

3 本時の展開

| 時間 | 学習活動（教師の働きかけ・児童の反応） | 指導上の留意点 |
|----|--|--|
| 0 | ○ アイスブレイクをする。 | ・短時間で気持ちをほぐす活動をさせる。 |
| 3 | ○ 気持ちを表す言葉を考える。 「どんな言葉を知っていますか。」 ○ 今日の学習のめあてを知る。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">いい気持ちといやな気持ちを考えよう。</div> | ・回答がない場合は、具体的な場面から気持ちを想起させる。 |
| 5 | ○ 気持ちを分類する。 「気持ちは2つのグループに分けられます。いい気持ちといやな気持ちのグループです。それぞれのグループには、どんな言葉がありますか。分けてみましょう。」 ・（いい気持ち）うれしい、楽しい、うきうき… ・（いやな気持ち）悲しい、怖い、くやしい… | ・付箋等に気持ちを書き、いい気持ちといやな気持ちに分類させる。 ・必要に応じて、どんな気持ちであっても、感じてよいこと（感じてはいけない気持ちはないこと）を確認する。 |
| 15 | ○ 「うれしい」の気持ちについて話し合う。 「その中の2つの気持ちについて学習します。1つ目は「うれしい」という気持ちです。「うれしい」というのは、いいことがあった時に感じる気持ちです。」 「みなさんはどんな時に「うれしい」気持ちになりますか。」 ・テストで100点を取った時 ・好きなゲームをしている時 「うれしい」時は、みなさんはどんな表情やしぐさをしますか。」 ・顔がニコニコになる ・スキップや飛び跳ねたりする。 ・だれかにそのことを話す。 「テストで100点を取った時には、「うれしい」気持ちになって、目がニコニコになったり、飛び跳ねたりすることがあるようです。」 | ・どんな意見も受け入れる。 |
| 23 | ○ 「悲しい」の気持ちについて話し合う。 <u>※うれしいと同様の流れで進める。</u> | ・「うれしい」と反対の気持ちで「悲しい」という気持ちがあることを捉え |